

製品名: 6CKine ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06348**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	CCL21
別名	C-C motif chemokine 21 (6CKine;Beta-chemokine exodus-2;Secondary lymphoid-tissue chemokine;SLC;Small-inducible cytokine A21)
遺伝子 ID	6366.0
SwissProt ID	O00585
免疫原	抗血清はヒト CCL21 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

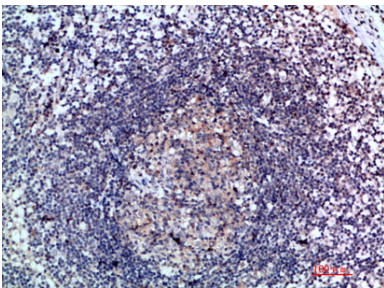
背景

この抗菌遺伝子は、9番染色体のp腕に密集している複数のCCサイトカイン遺伝子の1つです。サイトカインは、免疫調節および炎症プロセスに関与する分泌タンパク質のファミリーです。CCサイトカインは、隣接する2つのシステインを特徴とするタンパク質です。他のケモカインと同様に、この遺伝子によってコードされるタンパク質は造血を阻害し、走化性を刺激します。このタンパク質は、in vitroにおいて胸腺細胞および活性化T細胞に対して走化性を示しますが、B細胞、マクロファージ、または好中球に対しては走化性を示しません。この遺伝子によってコードされるサイトカインは、リンパ球の二次リンパ器官へのホーミングを媒介する役割も担っている可能性があります。これは、Tリンパ球およびBリンパ球上に発現するケモカイン受容体7に対する高親和性機能リガンドであり、サイトカインファミリーの別のメンバー（低分子誘導性サイトカインA19）の既知の受容体です。[RefSeq提供、2014年9月]機能: 造血を阻害し、走化性を刺激する。in vitroでは胸腺細胞および活性化T細胞に対して走化性を示すが、B細胞、マクロファージ、好中球に対しては走化性を持たない。ナイーブT細胞に対して優先的な活性を示す。二次リンパ器官へのリンパ球のホーミングを媒介する役割を果たす可能性がある。、オンライン情報: CCL21 エントリ、類似性: インタークリンベータ（ケモカインCC）ファミリーに属する。、サブユニット: CCR7に結合する。、組織特異性: リンパ節、脾臓、虫垂の高内皮細静脈で高発現。小腸、甲状腺、気管では中程度の発現が認められる。胸腺、骨髄、肝臓、膵臓では低レベルの発現が認められる。扁桃腺、胎児の心臓、胎児の脾臓にも見られます。

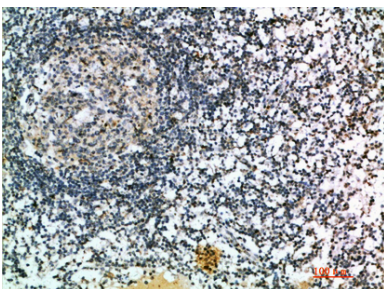
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;ケモカイン;

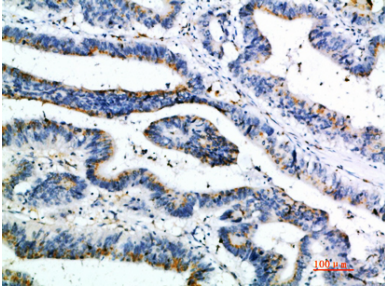
画像データ



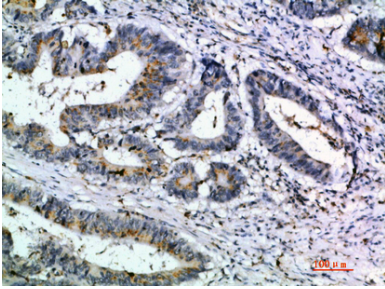
パラフィン包埋ヒトリンパの免疫組織化学分析、抗体は1:200に希釈された



パラフィン包埋ヒトリンパの免疫組織化学分析、抗体は1:200に希釈された



パラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された